

満州事変は日本侵略の出発点などで は断じてない

昨年12月、判決60年特別企画シンポジウム「今あらためて問う！ 東京裁判」が開催されましたが、私は出席出来なかったのでも残念な思いをしてました。ところがこのほど発刊された別冊正論NO10では「東京裁判の呪縛を断つ」と題して、このシンポジウムをほぼ完全な形で収録してくれています。

早速拝見しましたが、シンポジウムは三時間半にも及びかなり充実した内容だったようで、会場からの質疑応答まで収録されているので助かりました。最初に渡部昇一氏の「東京裁判史観からの脱却無くして自立なし」という基調講演があり、続いてパネルディスカッション「世紀の虚構を超克せよ」が誌上で完全な形で再現されています。



別冊「正論」は税込1000円で全国の書店で好評発売中です

コーディネイターは東京大学名誉教授の伊藤隆氏、パネラーはジャーナリスト・櫻井よしこ、大阪大学教授・坂本一哉、国際日本文化研究センター教授・牛村圭、高崎大学教授・八木秀次の各氏です。ここでは櫻井よしこさんが「閉ざされた言語空間の中で」と題した講演から、満州事変について語ったくだりを抜粋して収録します。

これでもか、これでもかと日本を挑発した蒋介石国民党政権

ここで私は満州事変について触れたいと思います。満州事変からわが国はいわゆる十五年戦争に走っていったと、リベラルの人たちは盛んにおっしゃいます。しかし、ではこの満州事変、日本が一方向的に悪かったのかといえば、そうではないと言っている資料がたくさんございます。ここでは二つだけご紹介いたします。

一つは当時北京にいた米国公使一当時、中国には大使がいませんでしたから事実上、米国公使が中国外交のトップだったわけですが一のジョン・マクマリーという人がいます。この人が一九三五年になってから、満州事変について分析した報告書を國務省に出しました。「マクマリー・メモランダム」といわれています。

これは日本でも『平和はいかに失われたか』(原書房)というタイトルで翻訳、出版されました。それを読みますと、一九二一

年のワシントン会議によって生まれたワシントン体制で中国の権益は他国にそれ以上侵されないように、中国の現状が維持される体制が築かれたわけです。

だからこそ、他ならぬ中国が率先して国際法を守らねばならない。それに応じて他国も中国の権益を守るという構図だった訳ですが、マクマリーによると、それを一番破ったのは中国でした。悉くワシントン体制の決まりごとを中国が破った。ワシントン体制を一生懸命最も誠実に守ったのは実は日本国政府であったというわけです。マクマリーは「これは北京在住の外交官ならば誰でも知っていることである」と述べています。日本政府は極めて誠実にその当時の国際法に基づいて、そこで決められたことを守ろうとしたのです。

しかしながら、それに対して蒋介石の国民党政権はこれでもか、これでもかというふうに関を挑発した。そして遂に満州事変が起きた。事変で発足した満州国を認めるわけにはいかない、このようなことは醜い。われわれ外交官もそう思う。けれども、その前の経緯を辿ってみれば、これは国民党の蔣介石政権が日本を追い込んだようなものであり、満州事変は中国が自ら蒔いた種を刈り取っているようなものだともマクマリーは書いているのです。



保守系ジャーナリストの第一人者・櫻井よしこさん

東京裁判史観に囚われる日本を一番喜んでるのが中国

つまりアメリカの中国外交の代表者であるマクマリーは、むしろ中国が悪くて、中国が原因で満州事変が起きたのだと捉えている。満州事変を起こしたという現象面だけ見ると、日本は責められても仕方がないけれども、しかし歴史には、ただ一瞬、その場面だけを切り取って考えることはできない面がある。継続した流れの中で物事を見なければならぬとも言っているわけです。

そしてもう一つ、渡部先生が編集と解説をなさった『全文リットン報告書』(ビジネス社)という労作があります。リットン調査団の報告書を懇切丁寧に、わかりやすい口語訳として読むことができますが、この報告書では満州国の独立は確かに認められなかった。満州事変を起こしたことにも、日本への不快感が込められています。しかし、マクマリーが書き記したことを裏付けるような話がリットン報告書にもたくさん盛り込まれています。日本に対していかに不法で、ひどい挑発が行われていたか。具体的な事例を挙げながらこれでもか、これでもかと書かれています。

これらの歴史文書を読めば読むほど、私たちは歴史観を変えていかなければならないと思います。私たちは未だに東京裁判史観に囚われ続け、先の田母神論文事件でも、政府与党が政府与党とは思えない理不尽な対応をしている。そうした日本を見て一番喜んでる国はどこか。それは紛れもなく中国なのです。日本の心ある人々は、この点について本当に心を傷めることでしょうか。

渡部先生がおっしゃったように、今日を一つの区切りに東京裁判史観を葬り去りたいと思います。今私たちの身の回りは多くの資料が読みやすいかたちになって出版されております。そうしたものを読むことから、日本の真の立ち直りができるのではないかと考えています。

カテゴリ: 政治も フォルダ: 指定なし



コメント(11)

タグ: 東京裁判 渡部昇一 伊藤隆 櫻井よしこ 坂本一哉 牛村圭 八木秀次 満州事変 蔣介石

コメント(11)

Commented by **花うさぎ** さん

2009/02/27 17:41

・お知らせ

西村真悟議員が「パチンコ店における出玉の換金行為を取り締まり、完全に違法化することに関する請願」を衆参両院議長宛に提出しました。

請願名「パチンコ店における出玉の換金行為を取り締まり、完全に違法化することに関する請願」の情報

項目 内容

国会回次 170

新件番号 15

請願件名 パチンコ店における出玉の換金行為を取り締まり、完全に違法化することに関する請願

受理件数(計) 1件

署名者通数(計) 39名

付託委員会 内閣

結果/年月日 審査未了

紹介議員一覧 受理番号 15号 西村 真悟君

http://www.shugiin.go.jp/itdb_seigan.nsf/html/seigan/1700015.htm

Commented by **花うさぎ** さん

2009/02/27 17:43

・お知らせ(続)

パチンコ店における出玉の換金行為を取り締まり、かかる行為を完全に違法化するよう求める請願

[衆議院議長殿](#)・[参議院議長殿](#)

【請願趣旨】

本請願は、日本全国のパチンコ店において、日常的に行われている「特殊品」等を媒介させる出玉の換金行為を完全に違法化し、摘発することを求める請願です。

現在、日本中のパチンコ店においては、ほぼ例外無く賭博営業が成立しております。

パチンコ遊戯による出玉を、店内において一定の景品(一般に、特殊景品などと呼ばれる)に交換し、それをすぐ近所の別営業主体の景品交換所に持ち込ませ買い取らせる形で、客に対して実質的な出玉の換金を行っており、これは実質上の賭博営業であると言わざるを得ません。

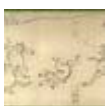
しかし、パチンコ店、特殊景品の交換所、景品問屋の三店の関係性は誰の目にも明白であるのですが、依然として賭博罪等による摘発が行われた例がありません。

誰の目にも違法賭博行為である事は明らかである以上、営業主体が異なるために摘発できないと言うのは詭弁に過ぎません。

こうしたパチンコ店を舞台とする換金行為を、違法賭博として取り締まること、またその徹底のために必要であるなら、関係法の整備を行い、かかる換金行為を完全に違法化するよう求めます。

【請願事項】

- 1、パチンコ店で行われている実質的な出玉換金行為を、違法賭博行為として取り締まる事
- 2、上項の徹底のため必要であれば、関係法の整備を進め完全に違法化する事

Commented by **風来坊** さん

2009/02/27 20:19

櫻井さんの歯切れの良い説には以前から感心していますが、余りにも歯切れが良すぎて、毒をも濁をも併せ呑まねばならない政治の世界では如何なものか?と、疑問を抱いていたことも事実です。

しかし、少なくとも歴史認識の面では、櫻井さんのような立場の人がオピニオンリーダーとなって啓蒙活動を続けて欲しいですね…現に櫻井ファンは多いですから。

Commented by **八目山人** さん

2009/02/27 20:45

「満州事変の真実」を書かれた和泉太郎氏と話をしたとき、彼は、「当時の国際常識で言えば、日本の本国政府が指示を出して、シナが日本を攻撃した事を理由に兵を動かし、満州を制圧しておれば、全く問題なかった。」と言っておられました。

非常によく分かりました。今のイスラエルとアラブの様な物です。

しかしアメリカがシナに加担したため、あのような流れになってしまったわけです。
ところで渡部昇一氏だと思いがすが。

2009/02/27 20:56



Commented by **花うさぎ さん**

To 風来坊さん こんにちは。

2009/02/27 21:01

>櫻井さんの歯切れの良い説には以前から感心していますが、余りにも歯切れが良すぎて、毒をも濁をも併せ呑まねばならない政治の世界では如何なものかと、疑問を抱いていたことも事実です。

確かにそういう部分はあるのですが、左翼との論争だけでなく、一般の方にわかりやすく解説するという能力はピカイチだと思います。

>現に櫻井ファンは多いですから。

多いですよ～。しかも収入には繋がらないボランティア活動も多いのですから本当に頭が下がります。



Commented by **花うさぎ さん**

To 八目山人さん こんにちは。

>「満州事変の真実」を書かれた和泉太郎氏と話をしたとき、彼は、「当時の国際常識で言えば、日本の本国政府が指示を出して、シナが日本を攻撃した事を理由に兵を動かし、満州を制圧しておれば、全く問題なかった。」と言っておられました。

なるほど。左翼のよりどころは今でも軍部の独走ですから、その論は説得力がありますね。

>ところで渡部昇一氏だと思いがすが。

うわ～ご指摘ありがとうございます。中川昭一氏が常に頭に入っていましたので、混同してしまいました。訂正しました。感謝です。



Commented by **花うさぎ さん**

-名曲を貴方に

2009/02/27 22:53

越路吹雪 - 愛の賛歌

<http://www.youtube.com/watch?v=m5jwRBQHPes>

美空ひばりの実力が身近に感じるまで、この越路吹雪が好きでした。日生劇場の生のステージをいつかはと思ってましたが、実現できないまま帰らぬ人となったのでした。本当に名曲だと思います。



Commented by **tettui さん**

>今日を一つの区切りに東京裁判史観を葬りに去りたい

2009/02/27 23:59

私もそのとおりだと思います。

連合国軍がでっち上げた東京裁判史観、これを葬っていかないことには、日本の戦後清算は終わらない。

東京裁判史観は、日本に中韓に対する言われなき贖罪感を抱く原因ともなるもので、中韓からの要求があるとなつていつい何とかがしてあげようとして足元を見られてしまう、それが却って中韓の自律を阻害し、日本にたかって置けば良いとの風潮を生み出し、韓国に居たつては終に1ドル1500ウォンを超える下落振りです。

日本と中韓が近隣にある国同士として正常な関係を築くためにも、東京裁判史観を葬らなければならないと思うところです。

また、日本の子供達に不名誉な汚名を残さないことは今の大人たちの責務として、私も何かお役に立ちたいと思うところです。できることを少しでも取り組んで参ります。



Commented by **花うさぎ さん**
To tettuiさん おはようございます。

2009/02/28 08:32
2009/03/02 00:08

>日本と中韓が近隣にある国同士として正常な関係を築くためにも、東京裁判史観を葬らなければならないと思うところです。

その通りですね。

>また、日本の子供達に不名誉な汚名を残さないことは今の大人たちの責務として、私も何かお役に立ちたいと思うところです。できることを少しでも取り組んで参ります。

まず「日本は悪いことをした」という自虐史観の人に堂々と反論して欲しいですね。こういう人に限ってろくろく勉強していないからそんなに難しい事ではありません(^ ^)。



Commented by **無駄話 さん**
今週の週刊新潮(3月5日号)に桜井よしこさんが海上保安庁の艦船が老朽化して悲惨な状態になっていることを書いていました。

2009/03/02 07:13

[ソマリア](#)沖の海賊警備に「海上自衛隊はだめ、海上保安庁が行けばよい。」と主張していた方々にぜひ知って欲しいことでした。



Commented by **花うさぎ さん**
To 無駄話さん おはようございます。

>桜井よしこさんが海上保安庁の艦船が老朽化して悲惨な状態になっていることを書いていました。

情報感謝です。まだ読んでませんでした。

>[ソマリア](#)沖の海賊警備に「海上自衛隊はだめ、海上保安庁が行けばよい。」と主張していた方々にぜひ知って欲しいことでした。

日本の左翼の安全保障の常識は世界の非常識であることを多くの国民が知って欲しいですね。